



平成20年度 町政方針と重点施策

「人とみどり」が輝く

ぬくもりの町松前」の実現をめざして



3月3日(月)から開催された平成20年松前町議会第1回定例会で、白石町長が述べた平成20年度の町政方針の要旨をお知らせします。

浸水対策

長尾谷川流域における公共下水道の雨水対策事業については、平成20年度の着手を目標に、事業の実施に必要な事業再評価や、事業計画変更の手續きを終わることができました。

今後、地域の関係する皆さんへの説明会を開催し、事業へ理解をいただくとともに、雨水ポンプ場建設に必要な基本計画の策定に着手していきます。

防災関係

消防団を再編して地域防災力を向上させる施策の第1段として、老朽化が進む大間・上高柳・恵久美の消防詰所を上高柳に集約し、第7分団消防詰所として新築し、地域の避難所としても利用できるように整備します。

また、近い将来発生が懸念される東南海地震

などに備え、消防団が倒壊した家屋から住民を救助する際に必要な救命工具セットを消防詰所に順次配備していきます。

また、防災行政無線のデジタル整備事業については、平成20年度と21年度の2か年で、アナログからデジタルへ切り替えるとともに、気象観測設備や緊急地震速報などの情報を瞬時に伝達できる機能も備えて、防災管理体制の充実強化を図ります。



防災行政無線

地籍調査

地籍調査は、平成19年度に東古泉地区の調査を終えて全体の半分が完了しました。

そして、平成20年度からは、国道56号線より西の市街地を含む地域の調査に入りますが、これからは、市街化区域を主に外注化することとし、直営と合わせて速やかに事業を進め、当初の計画より4年早い、平成26年度には、全ての地籍調査を完了したいと思っています。

そして、事業の早期完了により、精度の高い地籍情報の早期提供や人件費の削減などにつながるものと思います。

ごみの減量とリサイクル

平成18年10月から指定袋による可燃ごみの収集が始まり、町民のごみに関する意識が高まり、分別とリサイクルが進んできました。